

公益目的事業

共通：熊本市現代美術館の管理運営業務 【令和2年度実績一覧】

令和2年度全館入場者数：129,695人（開館日数：274日：4月1日～5月20日（43日間）新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館）

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり）

内 容				
来館者サービス・ニーズ調査・対応等	美術館マネジメント	来館者案内、電話・メールの問い合わせ、サービス、館内警備、入場者・入場料管理・分析等		
		アンケート実施・集計・回答等	185件	
		朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有		
		来館者の満足度向上を目的とした館内で働く全スタッフへの聞き取り調査（受付・テナント・プロパー・嘱託）	プロパー（12月17日）・嘱託（12月24日）テナント（2月3日）・受付（1月14～22日）	
新型コロナウイルス感染拡大防止対策		行政との連絡調整 実施予定の事業や館内の施設などのリスクの検証 開館後の安全対策検討 定期的に館内を消毒・入場者の検温及び連絡先の記載・空気清浄機の設置 事業中止に伴う対応（中止・延期・延長、映像制作等）検討 休館時の情報発信 熊本県のリスクレベルに対応した入場数の制限を実施	職員全員	
外部審議会等		原幸代子（県文化協会副会長） 村田真宏（豊田市美術館館長※当時） 日比野克彦（岐阜県美術館館長） 山出淳也（BEPPU PROJECT代表）	熊本市現代美術館の課題解決型の外部評価の導入についての査読	
	11月27日	松本充史（熊本市動植物園副園長）	熊本市動植物園のマスタープランをどのようなスケジュールとチーム割で作ったかの聞き取り	
	2月10日	大澤寅雄（（株）ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員）	ブランディングカアップと組織の再編成の進め方（リモートで開催）	
	1月7日	熊本県立大学生（4名）	若年層に向けた美術館からの発信・広報の方策について	
	2月18日	丸山泰（熊本県立大学教授）	美術館の広報活動などについて	
研修	11月1日	文化財IPMコーディネータ資格更新研修・試験（コロナ禍対応型）	公益財団法人文化財虫菌害研究所	富澤
現場実習受け入れ	ナイストライ（中学生職場体験）		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できず	

内 容 (つづき)		
施設管理	ホームギャラリー管理・運営	開架書籍の整理 問い合わせへの対応 (レファレンス)
	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営	子育てひろばの運営協力
	花壇 (正面玄関外) の管理、苗の植え替え	県立熊本支援学校の生徒による花壇の苗の植え替え作業への協力 (2回: 5月28日、11月17日)
	施設貸出 (予約・設備準備・支払等) ※収益事業再掲	会議研修室 (114件) アートロフト (55件)
	施設・設備の管理、点検、修繕等	セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等 設備修繕 (10件)
	美術館スタッフによるミュージアム I P M	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング (掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室 (G I、G II) の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成 (新規)

イ 美術館にもっと来たくなる交流・サービス

1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等 (レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
			維持管理・変更・更新等 (レンタルサーバ含む) 美術文化振興財団 http://www.kcac-pf.jp
	提供	SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・Twitter: @camk_kumamoto ・Facebook: 熊本市現代美術館 ・Instagram: camk_kumamoto (新規) ・Youtube: 熊本市現代美術館 (新規)
		メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791 (週1回レギュラー)
	市政だより、市facebook等	記事提供	

2 市民主体の交流・サービス (たまり場機能)

(1) ボランティア活動等 (日常)

種 類	活 動 内 容	人 数 (内 訳)	合 計 人 数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	(32人)	158人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	(13人)	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	(13人)	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	(30人)	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	(47人)	
読みがたり	絵本などの読みがたり	(17人)	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	(6人)	

(2) ボランティア研修等

研修等	活動内容	開催日	参加人数
—	※全体活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—
合計			0人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種別	内容		開催日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	29回/年（毎週月曜日） ※一部中止	791人
合計				791人

(2) 音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	70回/年 ※新型コロナウイルス感染対策のため活動休止期間あり	400人
詩の朗読会	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会 (飛び入り参加も可)	4月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		5月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		6月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		第193回（テーマ：うた）	7月23日	6人
		第194回（テーマ：白）	8月27日	9人
		第195回（テーマ：スケッチ）	9月24日	10人
		第196回（テーマ：秋）	10月22日	8人
		第197回（テーマ：童話）	11月26日	8人
		第198回（テーマ：妖精（クリスマス））	12月27日	7人
		1月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		2月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		3月例会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
		合計		

(3) お楽しみイベント

種別	内容		開催日	参加人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
子育てひろば 布ボランティアコラボ イベント	①フォトフレームキット無料配布 ②布マスク制作キット無料配布 (25点)	子育てひろば利用者向け、コロナ禍中の家庭でできるワークキット配布	10月12日-16日	59人
子育てひろば ワークショップ	おはなし会を親子あそび	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	ハイハイ赤ちゃんのためのリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ (1歳以下編)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子でリフレッシュヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子でふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にした音楽遊び	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子で楽しむアート体験	身近なモノ・材料を使って行うアート体験型ワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ (2歳以上編)	9月24日	20人
	親子でベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子でスキンシップ	10月22日	17人
	親子で楽しくおもちゃづくり	親子でおもちゃを作る体験を通して交流と創造力を育むワークショップ	11月19日	19人
	親子でクリスマスリースづくり	親子で協力してクリスマスリースの制作に挑戦するワークショップ	12月23日	22人
	親子で楽しむアート体験	身近なモノ・材料を使って行うアート体験型ワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	英語であそぼう! ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
親子でふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にした音楽遊び	3月25日	22人	
			合計	159人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【令和2年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
ライフ 生きることは、表現すること	障害や加齢、そこから生まれる困難さと向き合い、またそこに注目しながら日々制作を続ける、11組の現代アーティストからロボット研究者、そしてそれを支える人までを含めて紹介する展覧会。	4/11-6/14 (56日間) ※うち、4/11-5/20 (34日間) 閉場	4,113人
谷川俊太郎展	詩人・谷川俊太郎の個展。詩をはじめとする谷川の幅広い創作活動を振り返るとともに、それにまつわる資料や交友関係、親しんできた音楽、コレクション等を紹介することで詩人の創作の背景にも光を当てた。	6/27-9/6 (61日間)	10,716人
第32回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員：明和電機（芸術ユニット） 出品点数：268点（ポスト投函サイズ141点、フリー部門127点）	9/26-11/1 (32日間)	3,389人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	日本とフィンランドの外交関係樹立100周年（2019年）およびムーミン75周年（2020年）を記念した、これまでにない規模の「ムーミン原画展の決定版」。フィンランドのムーミン美術館とムーミンキャラクターズ社から500点あまりを借用。ムーミンの奥深い物語とアートとしての魅力に迫る展覧会。	11/14-1/11 (51日間)	33,826人
MINIATURE LIFE展2 田中達也見立ての世界	熊本出身のミニチュア写真家・見立て作家田中達也の個展。写真作品約120点とミニチュア立体作品約50点を展示。日本独自の文化である「見立て」による発想の転換を示す、鹿児島在住でSNS経由で世界発信する新たなアーティスト像を紹介した。	1/29-3/14(41日間)	42,674人
段々降りてゆく 九州の地に根を張る7組の表現者	九州を拠点にし、自らの生きる環境に根差した問題意識を持って主体的な活動を行う同時代の表現者7組を紹介。各地で展開される作家たちの実践例を通して、九州の環境と状況に即した芸術や表現者のあり方を探った。	3/27-6/13 (68日間) 3/27-3/31(4日間)	311人
合 計			95,029人

※ 第32回熊本市市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
川野美華 展 Nighthawks	大分在住の若手作家、川野美華の個展。2010年から描き続けている《夜行性の庭》シリーズを中心に、代表的作風であるピンクページュを基調とした作品を展示。	4/29-7/5 (59日間) ※うち、4/29-5/20 (19日間) 閉館	3,074人
モヒカンポシェット 世界でたったひとつをつくる	海外買い付けの生地をベースにしたオールハンドメイド、1点ものの女性用コスチュームの制作を続ける、熊本在住のデザイナー櫻井貴容子と櫻井栄一によるユニット「モヒカンポシェット」の展示。	7/11-8/30 (44日間)	4,031人
コーダ・ヨーコ原画展 どうぶつえんのどうぶつたち	熊本出身・在住のイラストレーターコーダ・ヨーコの個展。熊本動植物園のどうぶつ案内板原画約100点と、市民公募作品約130点の展示。	9/2-10/25(47日間) (9/6:台風のため休館)	5,237人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展 〔第4回〕	熊本地震で被災した収蔵作品のコンディションチェック作業を、一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。前後期で展示替えを行い、総展示点数は37点。	11/1-1/17 (66日間)	2,723人
豊田有希写真展 あめつちのことづて 令和2年7月豪雨REBORNプロジェクト	水俣病の被害が現代になってわかった芦北町黒岩地区の人々の、昔ながらの素朴な暮らしが残る農作業や祭り、食卓、ポートレートなどを撮った「あめつちのことづて」と八代市坂本町の古い写真ネガをレスキューし、再プリントする「REBORNプロジェクト」を紹介。	1/20-3/31 (61日間)	4,768人
合 計			19,833人

(2) 井手宣通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末(ベル・エポック) — 『ニュクスの角灯』、『蝶のみちゆき』…展	天草出身・熊本在住のマンガ家高浜寛の個展。マンガ『ニュクスの角灯』『蝶のみちゆき』などから、貴重な原画とともに、作品に登場する高浜のアンティーク・コレクションを大公開。出品点数89点。 ※2/22-4/26まで開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/20まで閉館したことに伴い、井手室のみで開催	4/29-7/5(59日間) ※4/29-5/20(19日間)閉館	3,074人
川野美華 展 Nighthawks	大分在住の若手作家、川野美華の個展。2010年から描き続けている《夜行性の庭》シリーズを中心に、代表的作風であるピンクページを基調とした作品を展示。 ※7/5までギャラリーⅢで展示した川野美華展を7/8より井手宣通記念ギャラリーにて延長展示	7/8-8/30(47日間)	4,118人
コーダ・ヨーコ原画展 どうぶつえんのどうぶつたち	熊本出身・在住のイラストレーターコーダ・ヨーコの個展。熊本動植物園のどうぶつ案内板原画約100点と、市民公募作品約130点の展示。	9/2-10/25(47日間) (9/6台風のため休館)	5,237人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展 〔第4回〕	熊本地震で被災した収蔵作品のコンディションチェック作業を、一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。前後期で展示替えを行い、総展示点数は37点。	11/1-1/17(66日間)	2,723人
CAMKコレクション展 穴・距離	〈穴〉や〈距離〉をテーマに、宮崎静夫、横山博之、三浦洋一の絵画6点と川島清の彫刻1点を展示。	1/20-3/31(61日間) (R3.1/20-4/4:65日間)	4,768人
合 計			19,920人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1) フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期間
みらいデザインKUMAMOTO5 くまもとの公園	崇城大学デザイン学科と熊本市公園課の協働により、熊本市の管轄する公園の新たなデザインアイデアをプレゼンテーションするもの	2月3日-3月7日(29日間)

(2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
大城組(おおきぐみ)の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	8/1-8/31(27日間)
鎮西高等学校作品展示「卒展」	鎮西高等学校のグラフィックデザイン系科目を選択する生徒の卒業作品展	10/31-11/6(6日間)
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品	12/12-1/7(22日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

(1) 公開制作

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
モヒカンポシェット公開制作	モヒカンポシェット	展覧会開催期間中、モヒカンポシェットが会場内に移設したアトリエで公開制作を行うもの	7月11日-8月30日 (随時)	-
コーダ・ヨーコ壁画制作公開制作	コーダ・ヨーコ原画展	市民とつくるアートプロジェクト「水とあそぶどうぶつたち」の大壁画制作を公開制作として実施。「募集：どうぶつたちを描く」への応募作品から選ばれた動物たちの作品30点とコーダさんの動物の作品5点が登場する。 背景は江津湖のイメージ (参加人数は作品提出者数)	9月14日-10月12日	133人
合 計			2回	133人

(2) パフォーマンス

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
坂口恭平自作ギターライブ	ライフ	出品作家・坂口恭平の自作ギターによるミニライブ	6月14日	-
開幕イベント	アートパレード	審査員・明和電機によるミニライブ ※表彰式、審査員講評会は中止	9月26日	81人
加藤笑平オープニングパフォーマンス	段々降りてゆく	出品作家の加藤笑平によるパフォーマンス	3月27日	30人
合 計			3回	111人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1) レクチャー・カレッジ

演 題	展 覧 会	講 師 等	内 容	開催日	参加者数
担当学芸員による「ライフ」レクチャーカレッジ	ライフ	坂本顕子 (当館学芸員)	ライフ展の作家解説や見どころについて紹介 ※youtubeにて公開	※中止	-
谷川俊太郎展ができるまで	谷川俊太郎展	佐々木玄太郎 (当館学芸員)	谷川俊太郎の代表的仕事にも触れつつ、本展開催の舞台裏について紹介	8月23日	50人
合 計				1回	50人

(2) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
研究者トーク 「弱いロボットだから出来ること」	ライフ	岡田美智男 大島直樹 (出品作家)	出品作家によるトーク	※中止	-
片山真理アーティスト・トーク	ライフ	片山真理 (出品作家)	本展出品作家によるトーク ※インタビューをAKLに掲載	※中止	-
キュレータートーク 「金陽会のこれまでとこれから」	ライフ	蔵座江美 (キュレーター)	研究者によるトーク ※会場解説に振替	※中止	-
ファミリートーク 「家族から見たアーティストたち」	ライフ	藤岡浩子 渡邊仁子 (出品者の家族)	出品作家の家族によるトーク ※インタビューを特設ページに掲載	※中止	-
西本喜美子トークショー	ライフ	西本喜美子 西本和民 (出品作家)	出品作家と家族によるトーク	※中止	-
編集者トーク 「受け身の人」	ライフ	白石正明 (編集者)	出品作家の担当編集者によるトーク ※寄稿文を特設ページに掲載	※中止	-
ラジオ特別番組 谷川俊太郎「新空間ラジオ」	谷川俊太郎展	谷川俊太郎	東京杉並の自宅から、谷川俊太郎が熊本のラジオ局FM791の特別番組に生出演	6月27日	-
高浜寛アーティスト・トーク	高浜寛展	高浜寛 (出品作家)	出品作家によるトーク ※youtubeにて公開	※中止	-
コーダ・ヨーコアーティストトーク	コーダ・ヨーコ原画展	コーダ・ヨーコ (出品作家)	出品作家による会場内でのトーク	9月5日	16人
熊本動植物園副園長 x コーダ・ヨーコ スペシャルトーク	コーダ・ヨーコ原画展	熊本動植物園副園長松本充史 コーダ・ヨーコ	出品作家とゲストによるトーク。参加者より事前に質問を集め、それぞれ回答するかたちでのトーク ※youtubeにて公開	9月12日	37人
田中達也 x 熊本市長 スペシャルトーク	MINIATURE LIFE展2	田中達也 (出品作家) 大西市長	出品作家と熊本市長が、発想の転換をテーマにwithコロナの熊本について対話するトーク	※中止	-
ドネーションブック「REBORN」発刊記念トーク	豊田有希写真展	豊田有希 溝口隼平 坂本桃子	ドネーションブック「REBORN」制作に関わった3人によるトーク ※ZOOMで実施	2月14日	20人

田中達也アーティストトーク	MINIATURE LIFE展2	田中達也 (出品作家)	熊本出身ということから、幼少期から学生時代の思い出、作家になったきっかけや今の作家活動への思いなどについてのトーク ※youtubeにて公開	2月27日 (1/29より延期)	53人
「段々降りてゆく」オープニングトーク	段々降りてゆく	加藤笑平 すうひゃん。 畑直幸 加藤亮・児玉順平 (オレクトロニカ) 宮本華子 (リモート出演) 佐々木玄 (HOTEL ASIA PROJECT) 山内光枝 (いずれも出品作家)	出品作家によるトーク	3月27日	38人
合 計				6回	164人

(3) 講演会

演 題	展 覧 会	講 師 等	内 容	開 催 日	参 加 者 数
対談「谷川俊太郎と熊本」	谷川俊太郎展	伊藤比呂美 (詩人) 田尻久子 (橙書店店主)	谷川俊太郎と熊本のつながりを振り返りながら、そこで生まれた作品を読み解く	8月8日	50人
記念講演会 「トーベ・ヤンソンと間に暮らす小さな生きものたちーヤンソンのブックデザインを通して感じたこと」	ムーミン展 THE ART AND THE STORY	祖父江 慎 (ブックデザイナー)	ムーミンコミックスをはじめ、日本での数々のトーベの出版物に携わってきた祖父江氏。ブックデザインを通して、ムーミンとトーベにアプローチしたトークショー。	11月28日	46人
合 計				2回	96人

(4) プレママ&ファミリーツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数	
ライフ	4月25日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	坂本顕子 (当館学芸員)	妊娠中の女性とその家族、または6才以下の子供と大人の組み合わせで、美術館や展覧会を楽しんでもらうツアー	-	
合 計				0回	0人

(5) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数	
ライフ	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー	-	
合 計				0回	0人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
第32回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員：明和電機（芸術ユニット） 出品点数：268点 (ポスト投函サイズ141点、フリー部門127点)	9/26-11/1 (32日間)	3,389人
合 計			3,389人

オ 災害復興支援事業

1 災害が発生した際、公1事業の収益を活用し、当財団から被災地の自治体等へ支援や寄付を実施

※令和2年度は寄付を行っていない

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【令和2年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	段々降りてゆく展
	テオ・ヤンセン展
	こわいな！恐怖の美術館展
	塔本シスコ展
九州又は熊本ゆかりの作家について	千原真実・秀島由己男・室山まゆみほか、九州内各県の作家調査（「段々降りてゆく」展の構想と出品作家検討）
熊本ならではの文化や歴史について	生人形・熊本アートポリスほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品（井手宣通ほか）についての調査研究
	ライフ展・谷川俊太郎展・ムーミン展・田中達也展の出品作品調査

調査研究内容の公表方法	実 績		
展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会及び図録の発行・講演会等の開催による公表		
	熊本市現代美術館2018年度年鑑【アートガマダスVol.18】web掲載		
ホームページによる公開	市収蔵作品リスト	1,512点	
展示公開、貸出、特別利用（市収蔵作品）	熊本市現代美術館における展示公開	33点 ※ 公1-ア-2に詳細を記載 合計3点	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	安本亀八 相撲生人形	
		日比野克彦、制作中島清 トーロート	
		塔本シスコ ふるさとの海	
	特別利用（熟覧・撮影等）	0点（熟覧）、0点（撮影）	
	作品画像貸出件数	合計8件	
		安本亀八 《相撲生人形》	2件
		木下晋 《ヒエログリフダイアリー》	1件
		松本寛庸 《国盗り絵巻》	1件
		松本寛庸 《彗星はやぶさ》	1件
松本寛庸 《バロック建築》		1件	
	田部光子 《人工胎盤》	2件	
館内での閲覧（図書資料等）	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧		
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供		

公表方法（つづき）	実 績			
館外での発表、寄稿	4月	寄稿：「彫刻と見世物のあいだ」	『現代彫刻アンソロジー』（芸術新聞社、2020年）	富澤
	5月	ライフ展寄稿『等しく生きていくを問う』	熊本日日新聞朝刊	坂本
		『コロナの時代における「弱さ」とは何か―「ライフ 生きることは、表現すること」』	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	7月	『自然と共生する人間の営み―久門剛史「らせんの練習」／廣瀬智央「地球はレモンのように青い」』	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	12月	『地域のイメージを更新すること、共有すること―豊田有希写真展 あめつちのことづて／令和2年7月豪雨REBORNプロジェクト』	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
		県内美術館運営の転機―コロナで休館、来場者減、予算も縮小	熊本日日新聞（12月24日朝刊）	岩崎千（インタビュー書き起こし）
		講義「芸術活動（組織）による地域貢献について、熊本市現代美術館からのヒントとといいますか、現場の声」	筑波大学「プロジェクト『YUKARI芸術の森構想実現のためのアートマネジメント基盤構築』特別授業	富澤
	1月	文化のチカラで、心豊かな1年に	熊本市広報課（市政だより1月号）	岩崎千（インタビュー書き起こし）
	3月	寄稿：「石内都の写真と「かざり」」	『佐野みどり先生古希記念論集 造形のポエティカー―日本美術史を巡る新たな地平』（青簡社、2021年）	富澤
		文化財保存修復学会ポスター展示「やってよかった、ミュージアムIPM」	『文化財保存修復学会研究発表集』（2021）	富澤
『2020年リレー日記』		アーツカウンシル東京	坂本	

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等		
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）	1,512点		
	市収蔵作品購入予備調査及び報告	館長不在のため次年度に見送り		
	作品データ管理・整備	公開作品 1,512件		
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	160冊	275冊
		刊行物	27冊	
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	78冊	
		映像・音楽資料	10本	
	図書装備	装備	0冊	84冊
		コーティング	84冊	
	図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	29,838件	32,150件
逐次刊行物		274件		
映像資料（CD等含む）		2,038件		

公益目的事業

公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【令和2年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
ライフ 生きることは、表現すること	※新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	写真は頭で撮る！ 目からウロコの写 真教室	西本和民 (写真家)	有名ミュージシャンのアルバムジャ ケットなどを手掛ける西本氏による気 軽な撮影ワークショップ	—
第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード	7月26日	[プレイベント] ポスト投函ア ート・ワークショッ プ	明和電機 (芸術ユニット)	熊本アートパレードの募集テーマ 「〈ポスト投函サイズ〉であること」 に基づき、発想法ワークショップ、作 品制作、発表会を実施	20人
モヒカンポシェット 世界でたったひとつをつくる	8月2日 9日 16日	モヒカンポシェッ トの服をつくろう	モヒカンポシェット (出展作家)	モヒカンポシェットが実際に使用して いる布地とボディを使い、1日でトッ プスを作るワークショップ	15人
ドレス・コード？ ——着る人たちのゲーム (※令和元年度開催)	11月5日～8日	[パブローブ] 勝負服のお裾分け	美術館スタッフ	「パブローブ」の勝負服を来場者に提 供し、その代わりに、来場者はその勝 負服を着てこれから「勝負したいこ と」を記入して交換 (※中止したイベントを「パブロー ブ」空間の一時的再開とともに改めて 実施)	170人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	12月5日	光のモビール 「ヒンメリ」を 作ってみよう	井上真弥 (やまと庭園)	フィンランドの伝統的なモビール“ヒ ンメリ”を作るワークショップ。小 中学生とその保護者を対象とした回。	13人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	12月5日	光のモビール 「ヒンメリ」を 作ってみよう	井上真弥 (やまと庭園)	フィンランドの伝統的なモビール“ヒ ンメリ”を作るワークショップ。高 校生以上を対象とした回。	15人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	12月20日	羊毛フェルトポー ル・ワークショッ プ—北欧風ガーラ ンド/ネックレス 作り—	美術館スタッフ	羊毛フェルトでボールを作り、ガーラ ンドもしくはネックレスを制作する ワークショップ。小学生(高学年)と その保護者を対象とした回。	15人
ムーミン展 THE ART AND THE STORY	12月20日	羊毛フェルトポー ル・ワークショッ プ—北欧風ガーラ ンド/ネックレス 作り—	美術館スタッフ	羊毛フェルトでボールを作り、ガーラ ンドもしくはネックレスを制作する ワークショップ。中学生以上を対象と した回。	13人
合計	9回				261人

(2) 市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
コーダ・ヨーコ どうぶつえんのどうぶつたち	5月15日～7月31日 (公募受付から提出 日までの期間)	募集：「どうぶつ たちを描く」	コーダ・ヨーコ	コーダ・ヨーコさんのプロデュースす る熊本市現代美術館の大壁画「水とあ そぶどうぶつたち」(常設)に選ぶ作 品の募集。提出された全作品は個展で 展示。	133人
合計	1回				133人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	5団体	52人
小学校	12団体	248人
中学校	4団体	75人
高校	6団体	259人
短大	-	-
大学	2団体	44人
専門学校	7団体	279人
一般	5団体	64人
合計	41団体	1,021人

(2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内容	参加者数
日本大学	6月4日	市子ども支援課	子育て世代向けの運営について	1人
大阪市立美術館	12月3日	-	美術館建て替えに伴うフリースペースの視察及び運営方針等についての意見交換	1人
合計	2回			2人

(3) アウトリーチ

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
クラシック	-	-	声楽コンサート/ワークショップ	-
邦楽	-	-	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	-
邦楽	-	-	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	-
合計	0回			0人

※熊本市教育センターと連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各アーティストへ音楽教科書に掲載されている曲目を解説・演奏していただき動画コンテンツとして収録。

その動画コンテンツを当館のyoutubeチャンネルへアップし、熊本市内のみならず、全国の小・中学校の授業で熊本の音楽アーティストの動画を授業で活用していただいた。

※視聴回数内訳(音楽コンサート/ワークショップ: 2,138回、民謡と邦楽ワークショップ: 639回、現代邦楽コンサート: 3,115回) 5月11日現在

2) 美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1) アートプログラム

種別	開催日	対象者	内容	参加者数
出張レクチャー	7月1日、3日	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業	120人
合計	2回			120人

(2) アートバス

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
鑑賞	11月27日	山本小学校 (1-2年生)	ムーミン展鑑賞	20人
鑑賞	12月11日	武蔵小学校 (3年生)	ムーミン展鑑賞	13人
鑑賞	12月18日	若葉小学校 (すずかけ学級)	ムーミン展鑑賞	25人
鑑賞	※中止	小島小学校 (支援学級)	田中展鑑賞	-
鑑賞	3月10日	本荘小学校 (4-5年生)	田中展鑑賞	10人
鑑賞	3月9日	菱形小学校 (ひまわり学級)	田中展鑑賞	9人
合計	5回			77人

(3) その他

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
博物館実習 ※ZOOMで実施	9/5-9/11 (5日間)	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	11人
合計	1回			11人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
現代美術	7月25日	熊本県立第二高等学校	第32回 熊本アートパレード [プレイベント] ナンセンス発想法ワークショップ 紙とペンを用いて、発想の原点となる自分の中にある「世界の感じ方」を発見していくワークショップ	50人
音楽	12月17日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO 実行委員会	Great Composer Memorial Series Special 生誕250年 L.v. ベートーヴェン 熊本ゆかりの演奏家によるコンサート	79人
合計	2回			129人

2 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築 (アートでつながる交流・連携)

内 容	詳 細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で5回(93-97号)発行した。

1) 行政とともに行政推進・補完のための政策課題の解決

2) 市民とともに行政分野(まちづくり、福祉、教育等)の課題解決

(1) 文化活動支援

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
成人式映像制作	9月4日	熊本市 (生涯学習課)	熊本市成人式で上映する映像を市と協働で制作 ※成人式自体は中止
	10月8日		
ミュージアムIPM指導および 作品調査	10月3日	和水町	和水町所蔵の秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品 調査
	12月19日		
ヒトガタ観客(アーティスト よ、アーティストにエールを贈 ろう!プロジェクト)	応募期間 11月30日-12月31日	熊本市 (文化政策課)	新型コロナウイルス感染拡大による観客の減少したホールと アーティストを応援するため市と協働で、市民会館等に設置す る観客(人型パネル)の原画を熊本在住・出身アーティストに 公募、選定しパネルを作成・納品。 (参加アーティスト22名)

(2) ネットワーク構築

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
熊本県立劇場役員候補者選考委 員会	4月19日	公益財団法人熊本県立劇場	熊本県立劇場の役員候補者の検討会議
	5月29日		
熊本県博物館連絡協議会総会	6月30日	熊本県博物館連絡協議会	博物館連絡協議会事業報告及び決算、役員交代等
熊本県文化協会 常任理事会 文化懇話会世話人会・総会	5月28日	県内の文化関係団体と 市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団 体等との情報交換等
	7月29日		
	8月26日		
	11月11日		
	12月9日		
	1月15日		
地域文化創造協議会	6月5日	市文化政策課	熊本市内の文化ホール、旧四町の文化協会による熊本市の文化 事業に関する協議会
	3月26日		
熊本城周辺文化施設会議	12月7日	県文化課	7施設の賑わい創出のための、熊本県立大学(産学官連携事業) 総合管理学科2年生による企画提案
熊本県立美術館 友の会	-	友の会世話人会 県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主 催 者	内 容
熊日賞 表彰	7月8日	熊本日日新聞社	熊本に地域発展にも功労のあった方を顕彰する「熊日賞」にお ける文化部門の表彰。
令和2年度心の輪を広げる作文・ ポスターコンクール	9月9日	熊本市障がい保健福祉課	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指 し、障害や障害のある人に対する国民の理解と関心を深めるこ と等を目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評
合 計	2回		

(4) まちづくり協力

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数
城下町くまもと ゆかた祭	6月8日	中心商店街等連絡協議会	中心商店街とのコロナ対策に対する考え方の摺り 合わせのため、会議にオブザーバー参加	-
2020上通アートプロジェクト 「コーダ・ヨーコ 上通水辺動 物園」	9月1日-10月30日	上通商栄会 熊本市動植物園	コーダ作品22点、市民公募作品133点の動物の絵 と、キリンやゾウの拡大プリント写真を商店街内 にシールやバナーで掲示。	-

上通 まちゼミ	9月19日	上通商栄会	第8回上通まちなかゼミナール 打ち合わせ	—
	11月29日	上通商栄会	第8回上通まちなかゼミナールへの参加。 「ムーミン展」の見どころを紹介するレクチャーを実施。	30人
熊本産花き装飾の展示	1月28日-2月12日	熊本市農業政策課 熊本県花き協会	熊本産花き装飾を展示し、日常生活での花きの消費促進への協力	—
合 計				30人

3 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

(1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種 別	開催日	主催・共催者	内 容	参加者数
熊本市再犯防止推進計画書デザインアドバイス	12-1月	熊本市生活安全課	「熊本市再犯防止推進計画書」の作成にあたり、市民に親しみやすいデザインのアドバイス	—
若年層への情報伝達・広報等に関する意見交換（再掲）	1月7日、2月18日	熊本県立大学	熊本県立大学地域連携政策センター長、総合管理学部教授と研究室の学生との、広報や若者の心理等に関する意見交換	5人
田中達也 x 熊本市長 スペシャルトーク	2月11日 ※中止	文化政策課、誘致戦略課、テレビ熊本	田中達也と熊本市長が、発想の転換をテーマにwithコロナの熊本について対話するトーク	—
合 計	3回			5人